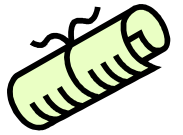


市民大学講座で紙や和紙について学んでみませんか？



常陸大宮市では、茨城大学と連携のもと、毎年様々なテーマで市民大学講座を開講しています。平成25年3月、常陸大宮市の「和紙生産用具と製品」が国の登録有形民俗文化財となりましたが、今回の秋講座は、「和紙」や「紙」を取り上げ、以下の内容で実施いたします。

「紙」が果たしてきた文化的な役割、私たちの暮らしと「紙」の関わりについて、学問的ながら、わかりやすく、楽しく勉強することができます。

ぜひ、ご参加ください。

◎秋講座 「紙・和紙について学ぶ」 (3回シリーズ)

[定員] 40名 (先着順)

[受講料] 1,500円 (3回分)

第1回 11月14日(木)

〈紙と常陸大宮〉

講師 茨城大学 人文学部

西野 由希子 教授

「西の内紙」は、どのように生産され、どのように使われてきたか。地域の文化や歴史、生活に果たした役割を中心に、お話しします。

常陸大宮市の大切な伝統文化・伝統産業としての今後についても、ごいっしょに考えたいと思います。

※ 全3回の講座終了後、希望者は、実際の「紙漉き」体験・活動に参加できます。

第2回 11月21日(木)

〈紙と書物〉

講師 茨城大学 人文学部

真柳 誠 教授

「紙」は、暮らしの中、さまざまな用途で使われるようになっていきますが、この回は、「書物」「本」に焦点をあてます。

中国の「線装本」、日本の「和綴じ本」などを実際に手にとっていただきながら、書物のスタイル、印刷との関係など、「書物」の歴史や発展、意義をわかりやすくお話しします。

第3回 11月28日(木)

〈紙とメディア〉

講師 茨城大学 人文学部

古賀 純一郎 教授

メディアは、これまでの「紙」による「新聞・雑誌」や、ラジオ・テレビなどの放送から、デジタル、インターネットのメディアへと、急速に変貌しています。

「紙」のメディアの持つ役割、また新しいメディアがこれからどうなっていくのか、それらとどのようにつきあったらいいか。「共同通信」で一線にあった講師が、具体的にお話しします。

○時間 19:00~20:30 (90分)

○場所 □ゼホール 2階会議室

○申込 平成25年11月8日までに、受講料を添え市民協働課までお申込みください。

申込・問 市民協働課市民協働G(市役所1階) ☎52-1111 (内線126/127)

